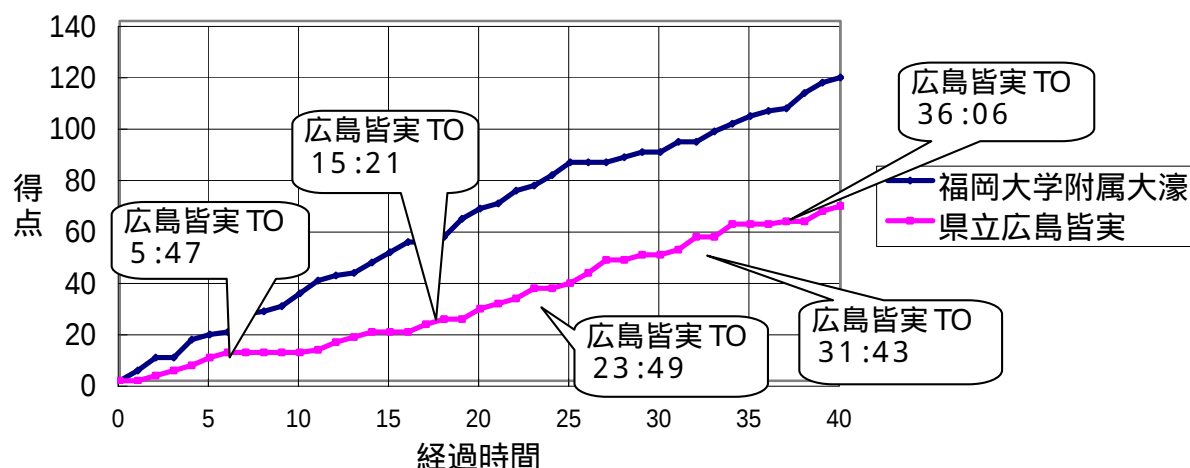


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	A4	14:30	男子 1回戦
期日会場	2007年（平成19年）7月29日（日） 唐津市文化体育館	福岡大学附属大濠 福岡 ○	118 34 - 11 33 - 17 22 - 21 29 - 19 -	68 県立広島皆実 ● 広島

主審 加川 真

副審 矢部 篤雄



福岡大学附属大濠

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	松谷 直人	13	0	4	5	2
5	崎濱 成矢	6	0	3	0	1
6	織田 秀司	13	1	4	2	1
7	山口 堯彰	27	4	7	1	3
8	大下内 仁	7	0	3	1	2
9	久保田 遼	16	0	6	4	4
10	岸 翔太郎	0	0	0	0	1
11	野崎 圭佑	15	2	4	1	1
12	大塚 勇人	9	0	4	1	2
13	二宮 弘憲	8	0	4	0	2
14	矢嶋 瞭	0	0	0	0	0
15	猪原 大輔	4	0	2	0	0
16						
17						
18						
コーチ	田中 国明					
合計		118	7	41	15	

県立広島皆実

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	今村 有希	0	0	0	0	0
5	関谷 晋次	11	1	3	2	3
6	小松 直樹	26	1	10	3	4
7	北川 真愛	0	0	0	0	1
8	藤谷 寛和	12	2	3	0	4
9	延近 大介	0	0	0	0	0
10	栴田 祐介	11	0	5	1	4
11	岡崎 修司	8	0	2	4	5
12	高田 汰華	0	0	0	0	0
13	片山 大地	0	0	0	0	4
14	村田 直己	0	0	0	0	0
15	高本 夏樹	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	藤井 貴康					
合計		68	4	23	10	

○はスターター（はキャプテン）3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

常連校で優勝を狙う福大大濠と長身者がいないためトランジションバスケットで勝負する広島皆実との対戦となったが、スピード、パワーに優る福大大濠の圧勝に終り、2回戦へ進出した。第1P、両者ともオールコートマンツーマンでスタート。福大大濠#9久保田のインサイドシュートで先制。その後も#6織田のドライブインシュート、#7山口の3Pなど多彩な攻撃で得点を積み重ねていく。一方広島皆実には#6小松の1対1で応戦するが福大大濠のディフェンスを崩すことができなく苦しい展開となり、34対11で福大大濠リードで第2Pへ。第2P、福大大濠は控え選手を投入。広島皆実には#11岡崎の3Pで先制し、流れを変えたいところだが、福大大濠のアグレッシブなディフェンスに合い、ターンオーバーからの速攻で点差は離れ、67対28で前半終了。なお、福大大濠の#12大塚、#5崎濱のアシストが光った。第3P、福大大濠スタートメンバーに戻り、序盤は余裕の展開。広島皆実4分タイムアウトから3-2ゾーンに変え流れが傾きそうに見えたが、点差は詰まらず89対49で最終Pへ。第4P、広島皆実最後まで諦めることなく、1-2-1-1のゾーンプレスをしかけ追撃するも、福大大濠が#7山口の3P、速攻で反撃し、結局118対68の大差で勝利した。

記載者	加々良高久	(所属) 佐賀県バスケットボール協会
-----	-------	--------------------